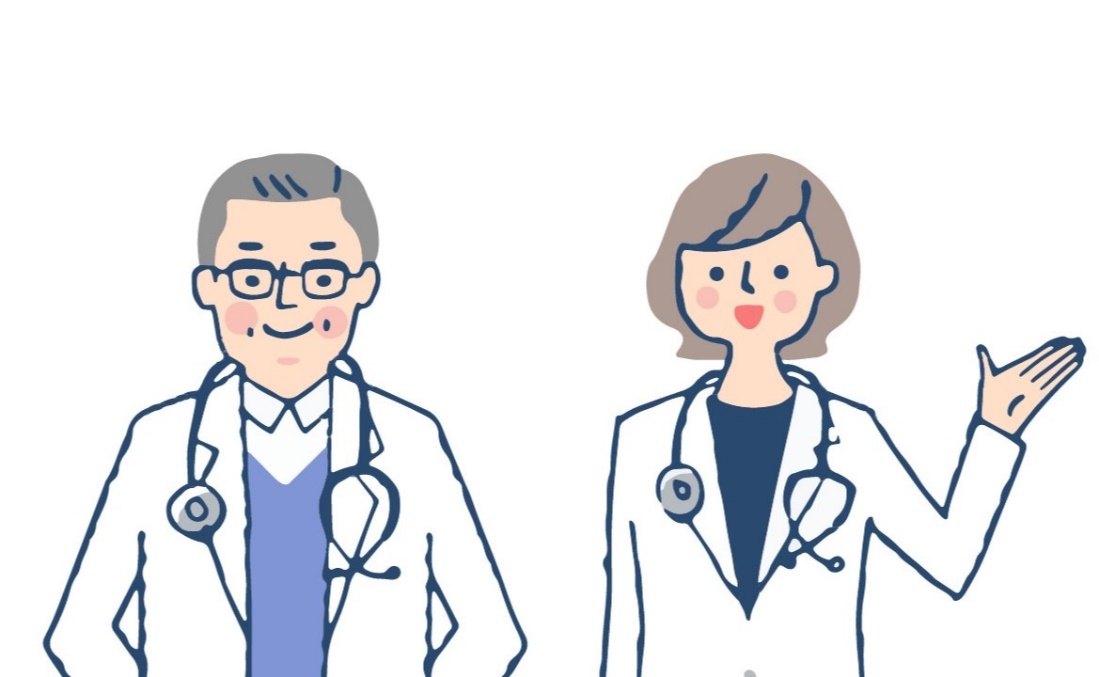
**「の」をべるについて**

向け



**【はじめに】**

「」は、たちののやをめるのようなもので、くはからけがれますが、には新しいもこることがあります。

「」のは元々のから変わっていることがあります。

「」のを調べることによって、新しいが発見されるかもしれません。そのような研究には、さんのやなどが必要です。

あなたは、で、「」のやを受けました。に使ったあなたのやのりなどを、に使わせてくれませんか、というおたずねです。このやのりなどを用いての研究に使わせてもらうことがあります。

**【と】**

　やの時にられたのや***（任意）***のほか、の時に少し多めにったをとっておき、に使います。使うときには、のと一緒に、やのもにします。は、あなたとは別の名前をつけて使うので、あなたののが他のかに知られることはありません。

**【いいこと、いこと】**

あなた自身にはいいことはありませんが、が進歩するがあります。

で痛いをしたりすることはありません。

にしなくても、にはなりません。

また、しても、後からいつでもやめることができます。

**【】**

　わからないこと、聞きたいことがあるときは、の先生に聞いてください

　　○○科

　：

**意思確認書（いしかくにんしょ）**

* わたしは、『「の」をべる』について

　　　　　　　　　先生からを聞きました。

* このにします。

　　　　　　年　　　　月　　　　日

氏名